

社会とのかかわり

経営理念「共存共栄」の精神に基づき、社会とのつながりを重視した活動を行っています。

アジアグループ会社の取り組み

当社グループは、国内外において、当社や関連会社が地域と密着した社会貢献活動に取り組んでいます。今回は、当社アジア合併事業会社（NIPSEAグループ）での取り組みをご紹介します。

「リニュー・ユア・ワールド」プロジェクトへの協力

「リニュー・ユア・ワールド」は、日本ペイント・シンガポールと世界的な非営利の医療団体ORBISが協力して取り組むプロジェクトです。日本ペイント・シンガポールが資金を提供し、ORBISがパートナーとして活躍するこのプロジェクトでは、失明、白内障、緑内障などの深刻な眼病を抱えるアジアの子どもたちを支援し、治療しています。2014年までに、少なくとも400名の眼病をかかえる子どもたちに治療を提供することを計画しています。

寄付金を通じたチャリティー・プロジェクトの支援

2012年、NIPSEAグループは、その設立50周年を記念して、厳しい状況に置かれている子どもたちを支援し、貧困の中で暮らす子どもたちの生活水準を改善するために、3.3百万シンガポール・ドルを寄付しました。この資金は、その後2年にわたり、厳正に審査された19のチャリティー・プロジェクトに配分されることになっており、2013年には資金活用の第一弾として、教育、社会復帰、生活などの環境改善を目的に、児童施設や社会福祉センターなどのペインティングや、内壁や外壁の

リニューアルを実施。さらには、新たな建屋の建設、子どもたちのための扇風機、車いす、バスなどのメンテナンスや交換も行われました。

「カラフル・ドリームズ」プロジェクトへの協力

「カラフル・ドリームズ」は、日本ペイント・マレーシアと非営利団体のパーサチュアン・カバジカン・ジェネラシ・ジェミラン（PKGG）が協力して進めているプロジェクトです。「今日のための喜びを、明日のための希望を」をテーマにしているこのプロジェクトは、マレーシアの全土で展開されており、設備の改修などによって、施設で暮らす子どもたちに、安全で有益な環境を提供することを目指しています。日本ペイント・マレーシアでは、こうした子どもたちの未来が、より良いものになるようにとの思いを込めて、地元ビジネス・パートナーにもこのプロジェクトに参画するように呼びかけています。

「日本ペイント・ヤング・デザイナー・アワード」の開催

2008年、NIPSEAグループでは、日本ペイント・ヤング・デザイナー・アワード（NPYDA）をアジアで立ち上げました。年に一度開催されるこのイベントは、アジアの若手インテリア・デザイナーや建築家の革新的な取り組みを促すほか、今後の持続的な発展を目指して、グリーン・デザインのコンセプトを広めることをねらいとしています。2012年に日本ペイント・チャイナが、この賞に正式参加しました。若手中国人デザイナーとアジア各国のデザイナーとが、コミュニケーションを図るようになり、また、身の回りの建物や建築物に対する世間の関心が高まることを願っています。2013年の日本ペイント・ヤング・デザイナー・アワードのテーマは「リ・シンク（再考）リ・クリエイト（再創）」ですが、これには、デザインの壁を乗り越えて、より環境にやさしい明るい明日を築き上げよう、という思いが込められています。

